

## 安全データシート

作成日 2021 年 02 月 07 日

改訂日 2022 年 09 月 29 日

## 1. 化学物質等及び会社情報

|           |                                    |
|-----------|------------------------------------|
| 化学物質等の名称: | ブルックリン シャワーフルーフ滑水                  |
| 製品コード:    | HV-06556、HV-06551 AG-649N          |
| 会社名:      | 株式会社ホーライ                           |
| 住所:       | 東大阪市寺前町1丁目9番12号                    |
| 担当部門:     | 開発部                                |
| 電話番号:     | 06-6728-1318                       |
| 緊急時の電話番号: | 06-6728-1318 (10:00~17:00 土・日・祝除く) |
| FAX番号:    | 06-6736-1385                       |
| メールアドレス:  | info@bulclean.com                  |
| 推奨用途:     | 自動車の塗装面の艶出し、保護                     |

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 物理化学的危険性

## 健康に対する有害性

## 環境に対する有害性

|                               |        |
|-------------------------------|--------|
| 引火性液体                         | 区分 3   |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性              | 区分 2   |
| 皮膚感作性                         | 区分 1   |
| 誤えん有害性                        | 区分 1   |
| 水生環境有害性                       | 分類できない |
| ※ 表記のない項目は区分外、区分に該当しないか分類できない |        |

## ラベル要素

## 絵表示又はシンボル:



## 注意喚起語:

## 危険有害性情報:

危険  
引火性の液体および蒸気  
強い眼刺激  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ

## 注意書き:

## 【安全対策】

使用前にラベルをよく読むこと。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。容器を密閉しておくこと。容器を接地すること/アースをとること。防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電に対する予防措置を講ずること。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

取扱後は手や顔をよく洗うこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

## 【応急措置】

医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。火災の場合: 消火に噴霧水、泡、ドライケミカル、炭酸ガスを使用すること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。特別な処置が必要である(4.応急措置の項目を参照)汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

## 【保管】

換気の良い場所で施錠して保管すること。子供の手の届かない涼しいところに置くこと。

**【廃棄】** 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

**3. 組成、成分情報**

単一製品・混合物の区別 混合物(液体)

| 成分名   | 含有率・% | CAS-No.                  | 化審法     | 安衛法     |
|---|-------|--------------------------|---------|---------|
| プロピレングリコール  | <30.0 | 57-55-6                  | 2-234   | 2-234   |
| ジメチルポリシロキサン   | <10.0 | 63148-62-9               | (7)-476 | (7)-476 |
| 合成イソパラフィン系炭化水素  | <22.0 | 68551-17-7<br>68551-20-2 | (2)-10  | -       |
| ナフサ(石油類)、(水素化処理 重質)                                     | <3.0  | 64742-48-9               | -       | -       |
| ホ <sup>1</sup> リオキシエチレンセカンタ <sup>1</sup> リーアルキルエーテル (A) | <2.0  | 84133-50-6               | 7-97    | 既存      |
| ホ <sup>1</sup> リオキシエチレンセカンタ <sup>1</sup> リーアルキルエーテル (B) | <3.0  | 84133-50-6               | 7-97    | 既存      |
| オルガ <sup>1</sup> ノホ <sup>1</sup> リシロキサン                 | 非公開   | 非公開                      | 非公開     | 非公開     |
| 水   | 残量    | 7732-18-5                | 非該当     | -       |

表示非対象物質: 増粘剤、防腐剤 等

**4. 応急処置**

- 吸入した場合:** 暴露を止めること。救助員は、自身あるいは他の人々が暴露するのを避けること。適切な呼吸用保護具を着用すること。もし呼吸障害、めまい、吐き気が起きたり、意識不明の状態に陥った場合は、直ちに医師の治療を受けること。呼吸が停止した場合は、機器等を用いて酸素吸入を試みるか、口対口の人工呼吸を行う。
- 皮膚に付着した場合:** 汚染された衣類を直ちに脱ぐ  
多量の水及び石鹼で洗い落とす。  
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断を受ける。
- 目に入った場合:** 直ちに清浄な流水で最低15分間洗浄した後、医師の処置を受ける。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
その後も洗浄を続けること。  
医師の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合:** 揮発性液体なので、嘔吐させるとかえって危険が増す。無理に吐かせず、直ちに医師の診断を受ける。水で良く口の中を洗ってもよい。
- 応急措置をする者の保護:** 救助者はゴム手袋・ゴーグル等の適切な保護具を着用する。  
医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。
- 医師に対する特別な注意事項** 経口摂取した場合、本物質は肺まで吸引され、化学物質による肺炎が起こることがある。適切に治療する。

**5. 火災時の措置**

- 消火剤:** 消火には噴霧水、泡、ドライケミカル、炭酸ガスを使う。
- 使ってはならない消火剤:** 棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。
- 特有の危険有害性:** 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
- 特有の消火方法:** 引火性 その現場から避難させる。消火剤やその希釈剤が、水路、下水、あるいは上水道へ流入することを防ぐ。消防士は、標準の防護装備を使用し、建物内部やタンク内等では自給式呼吸機(SCBA)を用いる。火にさらされた表面を冷却したり、人を守るために噴霧水を使用する。
- 消火を行う者の保護:** 消火作業は風上から行い、特に密閉された場所での消火の作業に従事する者は、必ず自給式呼吸具を着用する。

**6. 漏出時の措置**

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:** 付近の着火源となるものは速やかに取り除く。作業の際、保護具を着用する。  
風下で作業をしない。
- 環境に対する注意事項:** 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- 回収、中和:** 乾燥砂、土、その他の不燃性の物質に吸収させて廃棄用容器に回収する。  
大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。  
回収不可能な場合は、多量の水で希釈し排水処理を行う。
- 二次災害の防止策:** 付着の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く  
漏洩源を遮断し、漏れを止める。

**7. 取扱い及び保管上の注意**

- 取扱い**
- 技術的対策:** 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。  
蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

|   |   |
|---|---|
| <b>局所排気・全体換気:<br/>安全取扱い注意事項:</b>        | 適切な換気を行う。空気中で 150℃以上で加熱する場合は換気を十分行う必要がある。火気、静電気、衝撃火花など着火源の生じないように注意する。吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、換気の良い場所で作業する。出来るだけ密閉された設備、機器又は局所排気装置を使用する。漏洩を防止する。<br>適切な衛生対策<br>休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。適切な産業衛生および安全対策のもとに取扱う。本製品は、空気雰囲気下において 150℃以上で加熱した場合、微量のホルムアルデヒドを徐々に生成致します。ホルムアルデヒドは皮膚、呼吸器系への感作性、目への刺激性及び発がん性の危険性が報告されております。従いまして、空気雰囲気下 150℃以上で加熱するような条件下でご使用の際は、換気を十分行って下さい。尚、換気が十分でない場合は有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用して下さい。『10.安定性及び反応性』を参照。 |
| <b>接触回避:<br/>保管<br/>注意事項:<br/>保管条件:</b> | 水分の混入を防ぐ。<br>日光の直射を避ける。<br>酸化性物質、有機過酸化物と離して貯蔵する。<br>屋外でドラム缶により貯蔵する場合は、屋根をつけるか、カバーをかける等の処置をする。<br>密閉容器に入れ、換気の良い、冷所に保管する。   |
| <b>混触危険物質:<br/>容器包装材料:</b>              | 強酸化剤<br>元の容器で保管する。  |

#### 8. ばく露防止及び保護措置

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| <b>管理濃度:</b>                   | 設定されていない  |
| <b>許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標):</b> | 許容濃度: ナフサ 1200 mg/m <sup>3</sup> 197 ppm  |
| <b>日本産業衛生学会<br/>ACGIH</b>      | 設定されていない<br>設定されていない  |
| <b>設備対策:</b>                   | 必要な保護レベルと管理方法は、潜在する曝露条件によって変わる。以下の対策を考慮する;<br>許容濃度を超えないために、適切な換気を行う。防爆型換気装置を使用する。<br>取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄の為の設備を設ける。  |
| <b>保護具</b>                     |   |
| <b>呼吸器の保護具:</b>                | 適切な呼吸器用保護具を着用する。  |
| <b>手の保護具:</b>                  | 保護手袋を着用する。  |
| <b>眼の保護具:</b>                  | 保護眼鏡を着用する。  |
| <b>皮膚及び身体の保護具:</b>             | 適切な保護衣を着用すること。  |
| <b>衛生対策:</b>                   | 本物質を取り扱った後、手を洗ってから飲食や喫煙をするなど、常に個人で適切な衛生的措置を続ける。汚染物質を取り除くために定期的に作業着と保護具を洗濯する。洗濯できない汚染された衣類及び靴などは廃棄する。確実な備品管理を実施する。 |

#### 9. 物理的及び化学的性質

|                                |                |
|--------------------------------|----------------|
| <b>物理的状态:</b>                  | 液体             |
| <b>色 :</b>                     | 白色～乳白色         |
| <b>臭い:</b>                     | 原料臭            |
| <b>融点/凝固点:</b>                 | データなし          |
| <b>沸点又は初留点及び沸騰範囲:</b>          | データなし          |
| <b>可燃性:</b>                    | 引火性の液体および蒸気    |
| <b>爆発限界及び爆発上限界/可燃限界:</b>       | データなし          |
| <b>引火点:</b>                    | 40℃ (成分のナフサの値) |
| <b>自然発火点:</b>                  | データなし          |
| <b>分解温度:</b>                   | データなし          |
| <b>pH:</b>                     | データなし          |
| <b>動粘性率:</b>                   | データなし          |
| <b>溶解度:</b>                    | 水に可溶           |
| <b>n-オクタノール/水分配係数 (log 値):</b> | データなし          |
| <b>蒸気圧:</b>                    | データなし          |

密度及び／又は相対密度: 0.99±0.02  
 相対ガス密度: データなし  
 粒子特性: 非該当

10. 安定性及び反応性

安定性: 通常の使用条件で安定  
 危険有害反応可能性: 強酸化剤と反応し火災や爆発の危険がある。  
 避けるべき条件: 加熱、スパーク、はだか火、およびその他の発火源は避ける。  
 混触危険物質: 過酸化剤、強酸化剤  
 危険有害な分解生成物: 加熱又は燃焼により下記の分解生成物を発生する可能性がある。  
 一酸化炭素、二酸化炭素等の酸化炭素類、不完全燃焼により生成する微量の炭素化合物。二酸化珪素。ホルムアルデヒド。

11. 有害性情報

急性毒性: 製品についての情報: 区分外  
 皮膚腐食性／刺激性: 製品についての情報: 区分3の成分が10%未満のため、区分外とした。  
 成分についての情報: ジメチルホリスロキサン  
 刺激性なし(ウサギ)(類似品より推定)  
 成分についての情報: プロピレングリコール  
 <ヒトへの影響>眼を刺激し、眼に入ると発赤、痛みを生じる。長期または反復して接触すると皮膚が感作されることがある。・男女104人のボランティア(19-79才)の背部に本物質の50%水溶液0.2mLを3回/週の頻度で計9回塗布(24時間/回)し、約2週間後に再塗布(濃度不明)して反応を見たパッチテストの結果、1人は実験開始後早期に発赤がみられたため、4階で塗布を中止した。残り対象者は少なくとも1回は軽微な発赤が生じ、再塗布後4人が軽度発赤、4人が軽度から中等度の発赤を生じた。<実験動物への影響>モルモット、ウサギ及びミニブタでは皮膚刺激性はなかった。区分外  
 成分についての情報: 合成イソパラフィン系炭化水素 区分3  
 ウサギで中くらいの皮膚刺激性 PIT=3.7(蒸留範囲が若干異なる製品の結果)  
 成分についての情報: ホリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(A)(B)  
 区分に該当する条件を満たさない為、区分外とした。  
 製品についての情報: 区分1の成分が<3%含有のため、区分2とした。  
 成分についての情報: ホリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(B)  
 区分1に分類される成分の濃度合計が1.0%以上であるため区分1とした。  
 Commission Directive 93/21/EEC of April 1993の基準でEU区分R41と判定。3匹中1匹が21日で角膜混濁の回復をしなかった(ウサギ)  
 成分についての情報: ホリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(A)  
 区分2もしくは区分2Aに分類される成分の濃度合計が10%以上であるため区分2とした。ホリオキシエチレン-sec-アルキルエーテル: 区分2A試験動物3匹中2匹で角膜混濁 1.0 結膜発赤 2.0となるが14日で回復する[ウサギ]  
 成分についての情報: 合成イソパラフィン系炭化水素  
 ウサギで刺激性なし  
 成分についての情報: ジメチルホリスロキサン  
 刺激性なし(ウサギ)(類似品より推定)  
 成分についての情報: プロピレングリコール  
 <ヒトへの影響>ヒトがプロピレングリコールの蒸気に暴露した場合、眼への刺激作用はない。<動物実験への影響>直接点眼した場合、軽度の刺激作用がある。50%水溶液では眼刺激作用はなかった。  
 呼吸器感作性又は皮膚感作性: 製品についての情報: 呼吸器感作性はデータ不足で分類できない。皮膚感作性区分1  
 成分についての情報: ホリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(B)  
 皮膚感作性: 区分1に分類される成分の濃度合計が1.0%以上であるため区分1とした。ホリオキシエチレン-sec-アルキルエーテル: 区分1陽性 LLNA法[マウス](類似品のデータ)  
 成分についての情報: ホリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(A)  
 皮膚感作性 区分に該当する条件を満たさないため、区分外とした。  
 生殖細胞変異原性: 製品についての情報: データ不足で分類できない。  
 成分についての情報: プロピレングリコール  
 Ames試験: 陰性 染色体異常試験(ヒトリンパ球): 陰性(IUCLD Release 3.1, 200.2)  
 成分についての情報: ジメチルホリスロキサン 陰性(微生物)(類似品より推定)  
 成分についての情報: 合成イソパラフィン系炭化水素  
 データなし(C10-C13のn-,iso-パラフィン、シクロアルカンの混合物ではin vitro,in vivoとも陰性)本製品はC12-C16のiso-パラフィンであり、変異原性はないと推定される。  
 成分についての情報: ホリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(B)  
 区分に該当する条件を満たさないため、区分外とした。

|                            |  |
|----------------------------|--|
| <b>発がん性:</b>               | <p>製品についての情報: データ不足で分類できない。</p> <p>成分についての情報: プロピレングリコール</p> <p>日本産業衛生学会、ACGIH、NTP、IARCのいずれにも記載なし。ラット及びイヌの2年間の長期経口投与毒性試験で腫瘍形成は見られなかった。ラット及びマウスへの反復皮膚塗布試験でも腫瘍形成は見られなかった。</p> <p>成分についての情報: ジメチルホルシロキサ 発がん性なし(類似品より推定)</p> <p>成分についての情報: 合成イソパラフィン系炭化水素</p> <p>国際的期間で発がん性と評価された例はない。</p>   |
| <b>生殖毒性:</b>               | <p>成分についての情報: ホリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(B)</p> <p>区分に該当する条件を満たさないため、区分外とした。</p> <p>製品についての情報: データ不足で分類できない。</p> <p>成分についての情報: プロピレングリコール</p> <p>5%のPGを給水投与したマウス継代試験では親及び次世代の繁殖及び生殖に影響はなかった。* 毒性は極めて弱く、食品添加物にも指定されているが、皮膚に繰り返し接触すると湿疹を生じることがある。眼に入れると一時的な痛みを生じることがある。</p> <p>成分についての情報: 合成イソパラフィン系炭化水素</p> <p>データなし。(C10-C13を主成分とする n-,iso-パラフィン、シクロアルカンの混合物では生殖毒性なし。同属物質であり生殖毒性はないと推定される)</p> <p>成分についての情報: ホリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(B)</p> <p>区分に該当する条件を満たさないため、区分外とした。</p> <p>成分についての情報: ホリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(A)</p> <p>区分に該当する条件を満たさないため、区分外とした。</p> |
| <b>特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露):</b> | <p>製品についての情報: データ不足で分類できない。</p> <p>成分についての情報: ナフサ</p> <p>短長期暴露による他の健康有害性。ヒトでの経験や実験データから、亜慢性、慢性の呼吸器系又は皮膚感受性、変異原性、生殖毒性、発がん性、標的臓器毒性(単回暴露又は反復暴露)、吸引性呼吸器有害性その他の健康影響が予想される。上にリコメンドする曝露レベルを超えた濃度の蒸気は、眼、呼吸器系を刺激し、頭痛、眩暈を起こし、知覚が麻痺し、他の中枢神経系に悪影響することがある。粘性の低い物質を長期間および/または反復して触れると、皮膚から脂肪が除かれ、結果として痛み、皮膚炎を起こすことがある。区分3。(製品に対しては区分3での含有量が&lt;20%のため、区分の対象外)</p>  |
| <b>特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露):</b> | <p>製品についての情報: データ不足で分類できない。</p> <p>成分についての情報: 合成イソパラフィン系炭化水素</p> <p>データなし。(C9-C13を主成分とする n-,iso-パラフィン、シクロアルカンの混合物の12週吸入試験で NOAEL=2000mg/m<sup>3</sup>。同属物質でさらに分子量が高いのでこのものよりも毒性は低いと推定される。)</p> <p>成分についての情報: ホリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(B)</p> <p>区分に該当する条件を満たさないため、区分外とした。</p>  |
| <b>誤えん有害性:</b>             | <p>製品についての情報: 区分2</p> <p>成分についての情報: 合成イソパラフィン系炭化水素 区分1</p> <p>炭化水素で粘度が低いので肺に入ると危険。</p> <p>成分についての情報: ナフサ</p> <p>飲み込むまいし吐き出す最中に、吸引される少量の液が化学的気管支肺炎ないし肺水腫を引き起こす可能性がある。区分1</p>  |

12. 環境影響情報

|                            |  |
|----------------------------|--|
| <b>水生環境有害性<br/>短期(急性):</b> | <p>製品についての情報: データ不足で分類できない。</p> <p>成分についての情報: プロピレングリコール</p> <p>漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。</p> <p>成分についての情報: 合成イソパラフィン系炭化水素</p> <p>水に対する溶解性が極めて低く溶解度以下では有害影響はないと推定される。</p> <p>成分についての情報: ホリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(B)</p> <p>区分1に分類される成分の濃度合計(換算値)が25%以上であることから区分1とした。</p> <p>成分についての情報: ホリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(A)</p> <p>区分1に分類される成分の濃度合計(換算値)×10+区分2に分類される濃度合計の値が25%以上であることから区分2とした。</p> |
| <b>水生環境有害性<br/>長期(慢性):</b> | <p>製品についての情報: データ不足で分類できない。</p> <p>成分についての情報: 合成イソパラフィン系炭化水素</p> <p>C8以上のイソパラフィンは概ね難分解であるが低蓄積性。</p> <p>成分についての情報: ホリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(B)</p>  |

|                   |   |
|-------------------|---|
| <b>生殖毒性:</b>      | <p>区分に該当する条件を満たさないため、区分外とした。</p> <p>成分についての情報:ナフサ<br/>         生体毒性:物質 -- 水生生物に対する有害性は予測されない。<br/>         物質 -- 水生生物に対して慢性毒性を及ぼすことは予測されない。</p> <p>成分についての情報:ポリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(B)<br/>         生態毒性・魚毒性:LC50(48hr): 3.3 mg/L[ヒメダカ][類似品のデータ]LC50(48hr): 8.8 mg/L[ヒメダカ][類似品のデータ](ポリオキシエチレン-sec-アルキルエーテル)<br/>         生態毒性・無脊椎動物毒性:LC50(48hr): 1.0 mg/L[LC50(96hr): 0.73 mg/L] [アミ科(ミシドシュリンブ)][類似品のデータ]<br/>         LC50(48hr): 1.3 mg/L[LC50(96hr): 0.62 mg/L] [Chaetogammarus marinus(ヨコエビ科)][類似品のデータ](ポリオキシエチレン-sec-アルキルエーテル)</p> <p>成分についての情報:ポリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(A)<br/>         魚毒性:<br/>         LC50(96Hr) 12mg/L(ヒメダカ)<br/>         LC50(96hr) 2.6 mg/L(C.marinus(ヤツメウナギ類))<br/>         LC50(96hr) 1.2 mg/L(M.bahia(ミシドシュリンブ))</p> |
| <b>残留性・分解性:</b>   | <p>成分についての情報:プロピレングリコール<br/>         易分解性 BOD 1.08g/g COD(Cr) 1.68g/g, COD(Mn) 0.72g/g</p> <p>成分についての情報:ジメチルポリシロキサン<br/>         乾燥土壌中で分解される可能性あり。(類似品より推定)</p> <p>成分についての情報:ナフサ<br/>         生物分解:物質 -- 易生分解性であると予測される。<br/>         加水分解:物質 -- 加水分解による変性は少ないと予測される。<br/>         光分解:物質 -- 光分解による変性は少ないと予測される。<br/>         大気中での酸化反応:物質 -- 速やかに空気中で分解することが予測される。</p> <p>成分についての情報:ポリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(B)<br/>         微生物により容易に分解する(生分解度&gt;97%/JIS K3363-1990)(ポリオキシエチレン-sec-アルキルエーテル)</p> <p>成分についての情報:ポリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(A)<br/>         生分解度 Degradability &gt; 99%(OECD304/JIS k3363-1990)即ち微生物により容易に分解する。BOD5:710ppm(1000ppm 水溶液換算(water solution conversion))ポリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル</p>  |
| <b>生態蓄積性:</b>     | <p>成分についての情報:プロピレングリコール<br/>         生体蓄積性:logPow -0.92~-1.32BCF は1以下である。</p>   |
| <b>土壌中の移動性:</b>   | <p>成分についての情報:ジメチルポリシロキサン 蓄積性なし(類似品より推定)</p>   |
| <b>オゾン層への有害性:</b> | <p>成分についての情報:ナフサ<br/>         物質 -- 非常に揮発性が高く、速やかに空気中に拡散する。汚泥ならびに汚水固形物として分離することは予測されない。</p> <p>情報なし</p>   |

13. 廃棄上の注意:

|                  |   |
|------------------|---|
| <b>残余廃棄物:</b>    | <p>廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。廃棄物の処理を委託する場合は、都道府県の許可を受けた業者に委託する。</p>         |
| <b>汚染容器及び包装:</b> | <p>容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p> |

14. 輸送上の注意

国際規制

|                       |  |
|-----------------------|--|
| <b>海上規制情報</b>         | IMOの規定に従う。   |
| UN No.:               | 1139   |
| Proper Shipping Name: | COATING SOLUTION (includes surface treatments or coatings used for industrial purposes such as vehicle under-coating, drum or barrel lining) |
| Class:                | 3  |
| Packing Group:        | III  |
| Marine Pollutant:     | Not applicable   |

航空規制情報

|                       |  |
|-----------------------|--|
| UN No.:               | 1139   |
| Proper Shipping Name: | COATING SOLUTION (includes surface treatments or coatings used for industrial purposes such as vehicle under-coating, drum or barrel lining) |
| Class:                | 3  |
| Packing Group:        | III  |

国内規制

|               |            |
|---------------|------------|
| <b>陸上規制情報</b> | 消防法の規定に従う。 |
|---------------|------------|

|                    |              |
|--------------------|--------------|
| <b>海上規制情報</b>      | 船舶安全法の規定に従う。 |
| <b>国連番号:</b>       | 1139         |
| <b>品名:</b>         | コーティング液      |
| <b>クラス:</b>        | 3            |
| <b>容器等級:</b>       | III          |
| <b>海洋汚染物質</b>      | 非該当          |
| <b>航空規制情報</b>      | 航空法の規定に従う。   |
| <b>国連番号:</b>       | 1139         |
| <b>品名:</b>         | コーティング液      |
| <b>クラス:</b>        | 3            |
| <b>容器等級:</b>       | III          |
| <b>特別の安全対策</b>     |              |
| <b>緊急時応急措置指針番号</b> | 128          |

15. 適用法令

|                           |  |
|---------------------------|--|
| <b>化審法:</b>               | 既存化学物質: ナフサ<br>優先評価化学物質( $\alpha$ -アルキル(C=12~15)- $\omega$ -ヒドロキシポリ(オキシエチレン)(数平均分子量が 1000 未満のものに限る。)): ポリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(B)(A)  |
| <b>労働安全衛生法:</b>           | 危険物(引火性のもの): ナフサ<br>通知対象物質: ナフサ  |
| <b>毒物及び劇物取締法:</b>         | 非該当  |
| <b>消防法:</b>               | 危険物第 4 類第 2 石油類 危険等級 III 非水溶性液体  |
| <b>有機溶剤中毒予防規則</b>         | 第 3 種有機溶剤: ナフサ   |
| <b>化学物質管理促進法(PRTR 法):</b> | 第一種指定化学物質 No.407 ポリオキシエチレンアルキルエーテル(C=12-15)含有量 1.5wt%: ポリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(B)<br>第一種 407 号 ポリオキシエチレンアルキルエーテル(アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る。)2.3wt%: ポリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(A)   |
| <b>船舶安全法:</b>             | 規制対象物質: ナフサ<br>危険物船舶運送及び貯蔵規則(危規則)第 3 条 有害性物質: 船舶による危険物の運送基準等を定める告示(危険物告示)別表第 1 環境有害物質(液体)(備考 1(4)の表に掲げられたもの及び備考の欄の規定により当該危険物に該当するもの又は備考 2(8)の基準を満たすものであって他の危険性を有しないもの) Poly(oxyethylene) secondaryalkylether: ポリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(B)  |
| <b>航空法 :</b>              | 施行規則第 194 条 その他の有害物件: 航空機による爆発物等の輸送基準等を定める告示(危険物告示)別表第 1 環境有害物質(液体) Poly(oxyethylene) secondary-alkyl ether: ポリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(B)   |
| <b>海洋汚染防止法:</b>           | 海洋汚染物質(Z 類)プロピレングリコール<br>第 3 条 海洋汚染物質(Y 類): 施行令別表第 1 Y 類物質 脂肪族アルコールポリエトキシラート(セカンダリアルアルコールでその炭素数が 6 から 17 までのものであって、重合度が 3 から 6 までのもの及びその混合物に限る。): ポリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(B)<br>施行令別表第 1 Y 類物質脂肪族アルコールポリエトキシラート(セカンダリアルアルコールでその炭素数が 6 から 17 までのものであって、重合度が 7 から 12 までのもの及びその混合物に限る。): ポリオキシエチレンセカンダリアルキルエーテル(A) |
| <b>港則法:</b>               | 危険物: ナフサ   |
| <b>下水道法:</b>              | 鉱油類排出規制(5mg/L 許容濃度): ナフサ   |
| <b>道路法:</b>               | 施行令第 19 条の 13 車両の通行の制限別表 2-4(合成イソパラフィン系炭化水素)   |
| <b>水質汚濁防止法:</b>           | 油分排出規制(5mg/L 許容濃度): ナフサ  |
| <b>廃棄物処理法:</b>            | 特別管理産業廃棄物: ナフサ   |
| <b>道路運送車両法:</b>           | 危険物: ナフサ   |
| <b>外国為替及び外国貿易管理法:</b>     | 輸出入貿易管理令別表第一 第 16 項 キャッチオール規制品目: プロピレングリコール  |

16. その他の情報

|             |   |
|-------------|---|
| <b>参考文献</b> | 原料試薬供給先から提供された SDS 等<br>安全衛生情報センター GHS 対応モデルラベル・モデル SDS 情報<br>独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム |
|-------------|---|

●記載内容は、作成時点で入手できた資料、データ等に基づいておりますが、含有量、物理化学的性質などの値は保証値ではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取り扱いの場合には、使用者の責任において、用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。